

# 平成25年 県政の軌跡

I 県民と親しみ、県外に進攻した活動実績	1 頁
II 談合システムからの訣別と清潔な県政の実現	2
III 新しい県政の運営方法の導入	2
IV 未来を拓くひたむきな人間力を育む和歌山	
1. 元気な和歌山の未来を拓く人づくり	3
2. 明るく元気な社会づくり	4
V 生涯現役で誰もが活躍できる和歌山	
1. 少子化対策の充実	6
2. 福祉の充実	6
3. 健康わかやまの実現	6
VI 国際競争力のあるたくましい産業を育む和歌山	
1. 商工業の振興	7
2. 農林水産業の振興	9
VII 癒しと感動を与える誇れる郷土和歌山	
1. 観光の振興	12
2. 誇れる郷土づくり	14
3. 環境・自然の保全	15
VIII 県民の命と暮らしを守る安全安心和歌山	
1. 防災・減災社会の実現	16
2. 暮らしの安全・安心	17
IX にぎわいと交流を支える公共インフラを整備する和歌山	
1. 交通ネットワークの充実	18
○平成18年12月以降の本県への企業立地動向	20

## I 県民と親しみ、県外に進攻した活動実績

	就任1年目 (H18.12.19～ H19.11.30)	就任2年目 (H19.12.1～ H20.11.30)	就任3年目 (H20.12.1～ H21.11.30)	就任4年目 (H21.12.1～ H22.11.30)	就任5年目 (H22.12.1～ H23.11.30)	就任6年目 (H23.12.1～ H24.11.30)	就任7年目 (H24.12.1～ H25.11.30)
○県内から県庁を訪問して下さったお客様	223 グループ	206 グループ	194 グループ	237 グループ	291 グループ (義援金44グループ)	216 グループ	145 グループ
○県外から県庁を訪問して下さったお客様	112 グループ	81 グループ	198 グループ	78 グループ	93 グループ (義援金15グループ)	100 グループ	92 グループ
・国機関関係	35 グループ	24 グループ	28 グループ	14 グループ	26 グループ	31 グループ	22 グループ
・外国関係	18 グループ	7 グループ	16 グループ	11 グループ	17 グループ	17 グループ	9 グループ
○式典・大会出席挨拶	227 回	274 回	312 回	357 回	266 回	370 回	360 回
○講演・シンポジウム	20 回	18 回	22 回	54 回	30 回	27 回	35 回
○県内各地への出張回数	79 回	103 回	89 回	133 回	126 回	137 回	121 回
○県外各地への出張回数	66 回	78 回	68 回	51 回	69 回	65 回	56 回
・東京	24 回	32 回	26 回	20 回	28 回	19 回	26 回
・大阪	31 回	28 回	22 回	14 回	24 回	27 回	22 回
・他府県 (東京、大阪除く)	10 回	17 回	18 回	17 回	17 回	19 回	8 回
・外国	1 回 (中国)	1 回 (スペイン)	2 回 (イタリア・フランス、ブラジル・ペルー)	2 回 (トルコ・中国)	2 回 (中国・アメリカ)	2 回 (香港・シンガポール、デンマーク・スペイン)	3 回 (タイ・オーストラリア、香港、インド)
○公用車の走行距離	23,889 Km	23,104 Km	23,773 Km	25,344 Km	25,373 Km	27,000 Km	24,985 Km
○県内各界要人との懇談	24 回	33 回	26 回	35 回	28 回	19 回	17 回
○県内企業訪問	15 回	27 回	17 回	4 回	5 回	8 回	5 回
○国の要人との政策議論・要望	32 項目 75 回	51 項目 66 回	60 項目 62 回	30 項目 31 回	45 項目 89 回	43 項目 62 回	48 項目 73 回
○企業首脳トップセールス	41 回	60 回	32 回	25 回	38 回	34 回	42 回

## Ⅱ 談合システムからの訣別と清潔な県政の実現

### ○ 公共調達制度改革

- ・ 地域建設業を取り巻く状況が依然厳しい状況であること踏まえ、「最低制限価格」と「調査基準価格」の引き上げ等制度の見直しを実施
- ・ 建設工事に係る委託業務の品質確保を図るため、難易度の高い予定価格1千万円以上の土木及び建築関係建設コンサルタント業務に総合評価落札方式を導入(11月～)

## Ⅲ 新しい県政の運営方法の導入

### ○ 知事が直接県民の皆様と意見交換する「和歌山県行政報告会」を開催 (平成25年実績:28回)

### ○ 「新行財政改革推進プラン(改定版)～持続可能な県政へ～」に基づく行財政改革の取り組み

- ・ 職員数の見直し ▲126人
- ・ 事務事業の一層の見直し ▲12.7億円

### ○ 組織改正(4月)

- ・ 紀の国わかやま国体・大会開催に向けた体制の強化  
開催準備を進めるため、4課8班体制から5課14班体制に組織を拡充し、国体推進局を設置
- ・ 工事検査業務の効率化と技術支援の体制強化  
農林水産部の工事検査室と県土整備部の検査指導室を統合して「検査・技術支援課」を県土整備部に設置
- ・ がん対策分野における施策推進体制の強化  
がん対策分野における一層の施策推進を図るため、健康推進課の疾病対策班の名称を「がん・疾病対策班」に変更し、体制を強化

### ○ 人事異動(4月～)

- ・ 近隣府県との交流を推進 関西広域連合3名
- ・ 民間等との交流を推進 5団体5名
- ・ 中央省庁等への派遣を推進 1府6省4庁2団体及び山東省に24名
- ・ 県と県内市町村との人事交流を推進 9市町等17名
- ・ 大学院等への研修派遣を推進 5名
- ・ 他府県(大阪府、兵庫県、鳥取県)4名
- ・ 災害復旧応援(京都府、岩手県)3名

## IV 未来を拓くひたむきな人間力を育む和歌山

### 1. 元気な和歌山の未来を拓く人づくり

#### ○「国際人育成プロジェクト」の実施

- ・ 高校生による「英語ディベート大会」等の開催、児童生徒の海外留学支援制度の実施
- ・ 英語授業改善研究協議会による授業改善の推進

#### ○学習到達度調査の実施(12月)

県内公立小学校4～6年、中学校1・2年と特別支援学校小学部4～6年、  
中学部1・2年を対象に、個に応じた指導の充実と学習内容の定着のために国語、算数・数学で実施

#### ○「親と子どものためのきらめき”夢”トーク」を開催

- |     |   |      |
|-----|---|------|
| 2月  | 中辻憲夫(京都大学教授)  | 和歌山市 |
| 6月  | 辻 省次(東京大学教授)  | 新宮市  |
| 9月  | 志賀俊之(日産自動車株式会社 代表取締役COO)                                | 岩出市  |
| 10月 | 市川真知子(和歌山北高等学校教諭)<br>西岡詩穂(ロンドンオリンピックフェンシング女子フルーレ日本代表選手) | 和歌山市 |
| 11月 | 坂内正夫(独立行政法人情報通信研究機構理事長)                                 | 和歌山市 |
| 12月 | 青山繁晴(株式会社独立総合研究所<br>代表取締役社長・兼・首席研究員)                    | 和歌山市 |

#### ○第7回きのくにロボットフェスティバル2013を開催(12月)

#### ○青少年自身がリーダーとなって地域の青少年を育成する循環システムを構築するための「リレー式次世代健全育成事業」を継続実施

#### ○いじめ問題対策

- ・ いじめ等の相談窓口の拡大(平成24年9月～)  
「知事メール」「教育庁POST」で受付
- ・ いじめの実態把握(県立学校、市町村立学校、私立学校においてアンケートを実施)

## 2. 明るく元気な社会づくり

### ① 文化芸術の振興

- 文化の持つ力で、台風12号(平成23年9月)で被害を受けた地域を元気にするため、心の復興事業を実施(3月)
- 県民文化会館のリニューアルオープン(4月)  
2年間の耐震化工事が終わり、リニューアルオープンを記念し、各種記念事業を実施
- 和歌山県庁本館が登録文化財に指定(12月)
- 和歌山県文化表彰50周年の節目にあたり、記念事業を実施(10~12月)

### ② スポーツの振興

- 紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会(平成27年)開催準備
  - ・マスコット「きいちゃん」の募金付ぬいぐるみ制作・販売(1月)
  - ・紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会イメージソング「明日へと」坂本冬美さん歌唱によるCDを製作・発売
  - ・日本郵便株式会社から、両大会のマスコット「きいちゃん」がデザインされたオリジナルフレーム切手「2015 紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」が販売(10月)
  - ・紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会各種ボランティア(約5,500人)の募集開始(9月)  
運営ボランティア 約4,900人 情報支援ボランティア 約600人  
情報支援ボランティアの応募を促すため「要約筆記一日講習会」を開催
  - ・県外で開催を予定する4競技のうち兵庫県三木市で開催される馬術競技について、現地事務所を開設(11月)
- 第68回国民体育大会「スポーツ祭東京」において、本県選手団は前年の21位から18位に躍進(10月)
- 和歌山県ゴールデンキッズ発掘プロジェクト  
104名のゴールデンキッズを育成中
- 屋外運動場の芝生化を実施した県内27小学校による和歌山芝生サミットを開催(8月)
- 小中高の学校体育において体力向上を図るため、和歌山オリジナル「紀州っ子ががやきエクササイズ・ダンス」を開発し、その発表披露を実施(11月)
- 平成27年に和歌山県を中心にして、近畿6府県で行う高校スポーツの祭典である全国高等学校総合体育大会(インターハイ)の開催準備
- 中高等学校の運動部を強化拠点として指定  
中学校で41校98運動部、高等学校で27校66運動部

### ③ 国際交流の推進

#### ○スペインとの交流

- ・ スペイン・ガリシア州へ本県から青少年交流訪問団を派遣（3月）
- ・ スペイン・ガリシア州青少年交流訪問団の和歌山県訪問（7月）

#### ○ブルネイ王国との交流

- ・ 県内の青年を派遣し、現地の青年と交流（8月）
- ・ ブルネイの青年が来日し、和歌山大学の学生等と交流（12月）

### ④ 人権尊重社会の実現

#### ○「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」新規締結 6団体 計226団体

#### ○幼児を対象とした「人権感覚を育てようプログラム」の普及

#### ○「企業の社会的責任と人権」シンポジウムの開催（2月）

## V 生涯現役で誰もが活躍できる和歌山

### 1. 少子化対策の充実

- 紀州3人っこ施策
- 婚活イベント等による男女の出会いの機会を拡大

### 2. 福祉の充実

- 児童虐待防止対策の強化
  - ・ 親支援プログラムの拡充等
  - ・ 紀南児童相談所の改築移転(9月)
- 高齢者等の見守り協力に係る協定を締結
  - ・ 関西電力(株)和歌山支店、JAグループ和歌山(県内全JA)、(社)日本新聞販売協会和歌山市支部・紀北支部・紀南支部、日本郵便(株)(県内全郵便局)、和歌山ヤクルト販売(株)と協定を締結(4月)
  - ・ 佐川急便(株)西日本支社、西濃運輸(株)和歌山支店、ヤマト運輸(株)和歌山主管支店と協定を締結(10月)
- 要介護者及び家族介護者の安心を確保するため、地域における緊密な医療と介護のネットワークづくりを支援
- 発達障害支援者(ペアレントメンター)の養成など相談体制の充実
- セーフティーネット機能の充実
  - ・ 生活保護受給者にボランティア活動の場を提供

### 3. 健康わかやまの実現

- 妊娠を希望する女性及びその夫への風しんワクチン接種助成制度の創設
  - ・ 県内全市町村でワクチン接種助成制度ができる
- がん対策として、市町村の検診案内の個別通知による受診勧奨を支援
- 地域医療支援センター(県立医科大学に設置)における支援  
若手医師のキャリア形成支援等
- 日高看護専門学校開設支援
- 県立医科大学附属病院の診療体制等の充実支援
  - ・ 小児医療センターの設置(12月)

## VI 国際競争力のあるたくましい産業を育む和歌山

### 1. 商工業の振興

#### ○企業立地の促進

- ・平成25年1月以降新たに10社の企業立地が決定(詳細別紙)

#### ○企画・提案型のビジネスモデルを目指す産地企業の取り組みを、企画段階から販売促進まで3年間一貫して支援する「わかやま地場産業ブランド力強化支援事業」を実施

- ・平成25年 採択 9企業、1グループ

#### ○先端的な技術開発・実用化への支援を行う「先駆的産業技術研究開発支援事業」を実施

- ・採択実績:平成24年度 7社(1.1億円)→平成25年度 10社(1.8億円)

#### ○「わかやま産品販路開拓アクションプログラム2013」を策定(4月)

#### ○首都圏での販路開拓を行う県内中小企業を支援するため、活動拠点となる「わかやまビジネスサポートセンター」を展開

- ・6社入居

#### ○和歌山県優良県産品(プレミア和歌山)の推進

- ・第5回プレミア和歌山推奨品及び審査委員特別賞を決定(2月)
- ・首都圏の高級スーパーマーケットにおいてプレミア和歌山・特選グルメ販売コーナーを展開(10月～)

#### ○見本市等に出展

- ・エレクトロニクス機器に関連する製造技術・実装技術の見本市「第42回インターネフコン・ジャパン」に集団出展
- ・健康産業に関わる製品・サービスが一堂に会する展示会「健康博覧会2013」に集団出展(3月)
- ・アジア最大の日用品見本市「香港・ハウスウェア・フェア」に集団出展(4月)
- ・ねじ・ばねなどの機械要素や金属樹脂に関する加工技術の専門技術展「第17回機械要素技術展」に集団出展(6月)
- ・高級ブランドバイヤーが集まるアパレル見本市プルミエールヴィジョン(フランス/パリ)に集団出展(9月)
- ・国内最大のパーソナルギフトと生活雑貨の見本市「第76回東京国際ギフトショー秋2013」に集団出展(9月)
- ・国内最大の皮革関係見本市である「東京レザーフェア」に集団出展(6月、12月)
- ・アジア最大級の皮革見本市「オールチャイナレザーエキシビション」(上海)に集団出展(9月)
- ・国内外からの家具・デザイン・インテリア製品が一堂に会する国際見本市「IFFT/インテリアライフスタイルリビング 2013」への集団出展(11月)



- 商談会等の開催・実施
  - ・ シャープ株式会社と県内企業との個別面談会を開催(2月)
  - ・ 日本ペイント株式会社と県内企業との個別面談会を開催(3月)
  - ・ ミャンマー・ベトナム市場調査ミッションの実施(7月)
  - ・ トルコ・イタリアビジネスミッションの実施(10月)
  - ・ インドビジネスミッションの実施(10月)
- モンゴルセミナーの開催(1月)
- 香港貿易発展局とMOUの締結(7月)
  - ・ 香港の準政府機関であり、香港の対外貿易促進を目的として活動する香港貿易発展局と経済交流の活性化を念頭においたMOUを締結
  - ・ 香港セミナーの開催(8月)
- インド・マハラシュトラ州とMOUの締結(10月)
  - ・ インドの経済成長を牽引しているムンバイを州都とするマハラシュトラ州と観光交流、食品加工、企業間協力にかかるMOUを締結
- ブラジルビジネスセミナーの開催(12月)
  
- 工業高校における産業を支える人づくり
  - ・ 産業を支える人づくりのため、県内5工業高校(和歌山工業高校、紀北工業高校、箕島高校、紀央館高校、田辺工業高校)において企業と連携したさまざまな人材育成の取組を実施
  
- 中小企業向け融資制度の見直しを行い、中小企業者の資金繰りを支援
  - ・ 借換資金である資金繰り安定資金の金利引き下げ(4月)
  - ・ 「安全・安心推進資金」の創設(融資利率年1.2%以内)
    - ①トイレ改修及びバリアフリー化推進枠(H25年度、26年度限定)
    - ②防災対策推進枠
  
- わかやま塾の開講
  - ・ 将来、和歌山県を支え、世界にはばたく人材を育成することを目的に、50歳未満の県内企業の経営者、幹部、後継者等を対象にした「わかやま塾」を開講 塾生:100名
  
- 「紀州へら竿」が国の伝統的工芸品に指定(3月)
- 伝統的工芸品月間国民会議全国大会の開催(11月)
  - ・ 全国から伝統工芸士などが一堂に会し、功労者への表彰、全国の伝統的工芸品の製作体験、展示販売などの各種イベントを開催
  
- 「緊急雇用創出事業臨時特例基金活用事業」を実施
  - 平成25年度事業計画(11月末現在)
  - 緊急雇用
 

県	59事業	1,095百万円	578人雇用
市町村	112事業	719百万円	367人雇用
計	171事業	1,814百万円	945人雇用

## 2. 農林水産業の振興

### ① 農業・水産業

- 「和歌山県農水産物・加工食品の販売促進戦略 アクションプログラム2013」を策定(4月)
  
- 県産品のトップセールスを実施
  - ・オーストラリア・タイ(5月)
  - ・梅(東京・大田市場)(6月)
  - ・桃(大阪市中央卸売市場)(7月)
  - ・首都圏JR有楽町駅前周辺で、みかん、柿、梅干し等の県産品をPRする「ココ・カラ。わかやまキャンペーン」を開催(11月)
  
- 商談会を開催
  - ・わかやま産品商談会in大阪を開催し、435人のバイヤーが来場(2月)
  - ・オーストラリア・タイで県産品商談会を開催(5月)
  
- 国内見本市等に出展
  - ・「ふるさと祭り東京2013」に出展し、首都圏の消費者に和歌山のふるさとの味を販売(1月)
  
  - ・「スーパーマーケット・トレードショー2013」に出展、県内18業者が参加(2月)
  - ・「FOODEX JAPAN 2013」に出展、県内21業者が参加(3月)
  - ・「2013食博覧会・大阪」に出展し県内から5業者が参加(4・5月)
  
- 百貨店等で和歌山フェア開催
  - ・藤崎百貨店(宮城)(1月)
  - ・高島屋東京店(東京)(2月)
  - ・山形屋百貨店(鹿児島)(2月)
  - ・阪神百貨店(大阪)(4月)
  - ・伊勢丹浦和店(埼玉)(4月)
  - ・福岡三越(福岡)(5月)
  - ・松坂屋名古屋(愛知)(5月)
  - ・大丸梅田店(大阪)(5月)
  - ・日本橋三越本店(東京)(5月)
  - ・スーパーアピタ名古屋空港店(愛知)(6月)
  - ・ダイシン百貨店(東京)(6月)
  - ・阪急百貨店梅田本店(大阪)(7月、10月)
  - ・松坂屋本店(名古屋)(10月)
  - ・JA特約店くるるの社(北海道)(10月)
  - ・沖縄三越(沖縄)(11月)
  - ・京阪フレスト松井山手店(京都)(6月、11月)
  - ・スーパーアピタ鳴海店(愛知)(11月)
  - ・スーパーアピタ新潟亀田店・新潟西店(新潟)(11月)

- 国際食品見本市等に出展
  - ・ 「FOODEX JAPAN 2013」に出展、県内21業者が参加(3月) \* 再掲
  - ・ 「香港フードエキスポ2013」に出展、県内から4社が参加(8月)
  - ・ イタリア料理専門展「ACCI Gusto2013」に出展、県内から3事業者が参加(11月)
  
- 海外百貨店等で和歌山フェア開催
  - ・ 台湾(シティースーパー復興店他)(3月、12月)
  - ・ シンガポール(伊勢丹)(7月、12月)
  - ・ シンガポール(高島屋)(11月)
  
- 海外量販店等でのプロモーション実施
  - ・ 香港、シンガポール、台湾、マレーシア
  
- わかやま産品応援店として「近大水産研究所」レストランオープン(大阪4月・東京12月)
  
- 田中3きょうだいが「おいしい！健康わかやま産品応援隊」に就任(7月)
  
- 「おいしい！健康わかやま」機能性フォーラムの開催(9月)
- 立教大学×和歌山県「食の機能性フォーラム」開催(11月)
  
- 食品メーカー等との協働
  - ・ 「ピーチ空甘(くうかん)まるごと体感in関空」を開催(7月)
  - ・ 東京ABCクッキングスタジオで、県産「新生姜」を使ったクッキングとともに、機能性に関するセミナー開催(8月)
  - ・ フランスレストランウィークの開催(9・10月)  
全国のフランスレストラン約500店舗で行われる「フランスレストランウィーク2013」にスポンサーとして和歌山県が参加。首都圏10店舗で和歌山県食材を使用。
  - ・ 東京・丸の内KUNIGIWA内30店舗の飲食店において和歌山フェア開催(9月)
  - ・ 亀田製菓「柿の種婚活キャンペーン」において和歌山のぶどう山椒が花嫁に決定(10月)
  - ・ KIRIN「選ぼうニッポンのうまい！2013」において「プレミアム和歌山ハム・ソーセージ」が人気投票1位決定(12月)
  
- 航空会社との連携
  - ・ ANA全日空国際線ファーストクラス・ビジネスクラスの機内食に県内の柿酢が採用(3月～11月)
  - ・ ANA全日空スイートルounge(成田・羽田)において、県内2社のドレッシングが採用(3月～11月)
  - ・ ANA全日空ラウンジ(関西)において、県内の桃シャーベットが採用(11月～)
  - ・ 株式会社ジェイエアと県内企業とのタイアップ・キャンペーン第一弾  
南紀白浜空港に到着するJAL便機内において、地元企業が提供するお菓子を商品紹介アナウンスを交えながら、無償で配布
  
- わかやま農産物安心プラス事業を推進
  - 平成25年度認証 15団体、28品目(果樹11、野菜16、米1)

○施設園芸農家の省エネ対策

- ・施設園芸農家が、燃油価格高騰の影響を受けにくい生産構造を構築するため、省エネルギー機械・設備の導入に対し、25・26年度に限り緊急的に補助率を引き上げ(1/3→1/2)で支援を強化

○学校給食等への県産農水産物5品目(みかん、かき、うめ、もも、魚)の提供

○「ウメ輪紋ウイルスの侵入及びまん延の防止に関する条例」を制定・施行(3月)

- ・「ウメ輪紋ウイルス」の感染確認、対策実施(5月)

○企業のふるさと第3号調印式(3月)

- ・「企業のふるさと」第3号として、井関農機、くにぎ広場・農産物直売交流施設組合が橋本市内の耕作放棄地において、幻の畑ごんぼの産地化を目指す取り組み

○第19回全国棚田(千枚田)サミットの開催(有田川町)(11月)

○「ため池改修加速化計画」を策定(3月)

○有害鳥獣対策

- ・ニホンザル保護管理計画の策定(3月)

○鮮魚や水産加工品などの水産商材を展示・紹介する見本市「第10回 シーフードショー大阪」に和歌山県漁業協同組合連合会が出展

② 林業

○「わかやま森林と樹木の日」記念行事を開催(5月)

○大消費地への販売促進

- ・建築関連展示会「住まいの耐震博覧会」に出展(2月)
- ・紀州材・家づくりフェアをイオンモールりんくう泉南で開催(3月、11月)
- ・優良紀州材展を東京中央木材市場で開催(3月)
- ・九州紀州材展示会に出展(4月)
- ・国内最大規模の建材関連専門展示会「ジャパンホームショー」に出展(10月)
- ・首都圏における紀州材の販路拡大のため、大紀州材展を開催(10月)

○日本最大級の環境展「エコプロダクツ 2013」に「企業の森」を出展(12月)

## VII 癒しと感動を与える誇れる郷土和歌山

### 1. 観光の振興

- 「和歌山県観光振興アクションプログラム2013」を策定(4月)
- 「和歌山おもてなしトイレ大作戦」の実施
  - ・「紀の国わかやま国体・わかやま大会」までの2年間で、県内の公共施設(約580箇所)や民間施設のトイレを重点整備
    - ・洋式トイレを導入し、温水洗浄便座を設置
    - ・男性用小便器の自動洗浄化
    - ・オストメイト用設備の設置推進
- 「わかやまおもてなし宣言」の取り組みを推進
  - ・県のおもてなし力を向上させ、リピーター化を促進するため、観光局と国体推進局が連携し、県民総参加で各自のおもてなしを宣言して実践する「わかやまおもてなし宣言」の取り組みを推進  
登録件数:約480件、登録人数:約11,800人(12月末現在)
- 国内の誘客を図る取組
  - ・首都圏で「いよいよ和歌山に行ってみようキャンペーン」を実施(1月、11月)
  - ・北海道・東北プロモーションの実施(2・3・11月)
  - ・10万人の参詣道環境保全活動環境保全トレッキングの実施(3月、7月、10月)
  - ・東海プロモーションの実施(3月)
  - ・修学旅行・教育旅行の誘致をより一層推進するため「2013体験・学び・感動の修学旅行セミナー」を開催 東京(2月)、名古屋(8月)  
修学旅行誘致実績 平成25年 12府県から49校、6,990人
  - ・信用金庫業界の「年金旅行」の誘致  
和歌山県ときのくに信用金庫・新宮信用金庫とが締結した連携協定に基づき、信用金庫業界の年金旅行を和歌山県内へ誘致  
平成25年 8信用金庫 計1,805人
  - ・夏プロモーションの実施(6・7月)
  - ・プレ・和歌山デスティネーションキャンペーンの実施(9~12月)  
平成26年のキャンペーン実施を想定したイベントやおもてなし企画を実施し、県内各地への誘客を促進。
    - ・オープニングイベント(大阪)(9月)
    - ・1万人のウォーク&トレッキング(9~12月)
    - ・世界遺産「高野・熊野夢舞台」コンサート(9月)
    - ・「熊野に三度」イベント(熊野三山でコンサート、狂言を実施)(10~11月)
    - ・世界遺産「熊野」に関する講演会(慶應義塾大学教授・竹中平蔵氏)(10月)
    - ・秘宝等特別公開(高野山、丹生都比売神社、道成寺など)や国指定名勝等特別ライトアップなどを実施
    - ・手ぶら観光(9~12月)
  - ・和歌山デスティネーションキャンペーン  
全国宣伝販売促進会議の開催(10月2日~4日)

- ・ 秋冬プロモーションの実施(10月～12月)
- ・ 「和みわかやま宿泊得々キャンペーン」(10月～)を展開
- ・ 冬期の誘客を目的に、冬こそ和歌山「ぽかぽか和歌山キャンペーン」を実施(12月～)
- ・ 三県(奈良・三重)連携による世界遺産を活用した誘客対策(通年)
- ・ 誘客を目的とした企業CSR活動による環境保全活動誘致のため、企業訪問(通年)・環境展「エコプロダクツ2013」に出展(12月)を行い、企業CSR活動が増加

#### ○ 海外からの誘客を図る取組

- ・ 現地プロモーション  
韓国(2月、5月、8月、11月)、中国(6月)、  
マレーシア・タイ・シンガポール・インドネシア・フィリピン他(2月、5月、6月、8月、9月、10月、11月、12月)  
フランス(3月)、カナダ(10月)、  
台湾(3月、5月、6月、8月、9月、10月)、香港(2月、7月、9月、12月)、  
オーストラリア(5月)、アメリカ(3月)、インド(10月)
- ・ ASEANTA国際会議の招致(7・8月)  
東南アジア10カ国の観光関連団体(ASEANTA)の代表者による、国際会議を和歌山県白浜町で開催

## 2. 誇れる郷土づくり

### ○暮らしやすくにぎわいあふれる都市づくり

- ・商店街のコミュニティ機能強化支援事業実施 計10事業(12月末現在)

### ○愛着の持てる元気な農山漁村づくり

- ・「わがまち元気プロジェクト」を展開 3プロジェクト

- ◇熊野古道 ちかの”平安の郷”プロジェクト(田辺市)(平成23~25年度)
- ◇”有田川あらぎ島の景観保存と地域おこし”プロジェクト(有田川町)(平成24~26年度)
- ◇上富田町スポーツ振興ステップアッププロジェクト(上富田町)  
スポーツを核としたわがまち元気プロジェクト第1弾(平成25~27年度)

- ・わかやま版「過疎集落支援総合対策」を推進

＜過疎対策が進められている生活圏＞

- ◇シイタケを核とした産業振興で未来につなぐ集落づくり(寒川:日高川町)(平成23~25年度)
- ◇三川元気夢来プロジェクトで集落元気(三川:田辺市)(平成23~25年度)
- ◇芸術を核とした住民主役の集落づくり(真国:紀美野町)(平成23~25年度)
- ◇”露茜”の産地化で始まる新たな集落づくり(清川:みなべ町)(平成23~25年度)
- ◇交流(ヒト・モノ)から始まる元気集落づくり(佐本・大和:すさみ町)(平成23~25年度)
- ◇棚田を活用した元気な集落づくり(西八幡:有田川町)(平成24~26年度)
- ◇畑わさびと保田紙で地域再生への挑戦(安諦:有田川町)(平成24~26年度)
- ◇川添「お茶と農園・レストラン」で地域に活力(川添:白浜町)(平成24~26年度)
- ◇色川茶で繋ぐ移住・交流の拠点集落づくり(色川:那智勝浦町)(平成24~26年度)
- ◇交流人口の増加で『日本一の串柿の里』に活力(四郷:かつらぎ町)(平成25~27年度)
- ◇高野街道にぎわい創出と伝統文化の復興(花坂・細川:高野町)(平成25~27年度)
- ◇人財を活用して元気な集落再発見(中山路:田辺市)(平成25~27年度)

- ・「わかやま田舎暮らしセミナー」を大阪(9回)開催

- ・現役世代の移住受け入れ促進のための起業補助制度を実施(採択:7件)

- ・「ふるさと回帰フェア」に出展(東京・大阪・9月)

- ・読売新聞「わいず倶楽部」との共催によりわかやま田舎暮らし現地体験会開催(9月)

### ○濱口梧陵シンポジウムを開催(東京都内:10月)

### ○半島振興対策促進大会を開催(東京都内:11月)

### 3. 環境・自然の保全

- わかやま節電アクションプランを策定(夏期:6月、冬期:11月)
- 和歌山県次世代自動車充電インフラ整備ビジョンを策定(4月)
  - ・電気自動車の充電器の普及を図るため、ビジョンを策定。経路充電として主要道路沿いに20km間隔を目安に急速充電器を、目的地充電として宿泊施設やレジャー施設などに普通充電器を設置し、合計509箇所の設置を目指す
- 南紀熊野ジオパーク推進協議会設立総会の開催(2月)
  - ・貴重な地質や地形を有する紀南地域(「南紀熊野ジオパーク構想地域」)のジオパーク認定を目指して、県、市町村、教育委員会、商工・観光関係団体、地質研究者等の産学官が連携して、地域の地質や地形に関する資源を見直し、それらを保全するとともに、教育や観光の振興を図るため、「南紀熊野ジオパーク推進協議会」を設立
- 南紀熊野ジオパーク構想に係る「ジオパークガイド」養成講座開講(10月)
- ダイオキシン類汚染の無害化処理対策を完了した、橋本市の県有地の有効利用を図るため、民間事業者による太陽光発電施設を誘致(9月)
- 日本最大級の環境展「エコプロダクツ2013」に出展し、和歌山県認定リサイクル製品を紹介(12月)



## VIII 県民の命と暮らしを守る安全安心和歌山

### 1. 防災・減災社会の実現

- 県民を対象に地域で実践する「自助」と「共助」をテーマに和歌山県防災啓発研修を御坊市で実施(2月)
- 物資輸送・災害情報収集伝達訓練の実施(2月)
  - ・ 東海・東南海・南海地震などの大規模災害時における救援物資の輸送等について、広域防災拠点を開設などの訓練を行い、関係機関との連携強化を図る
- 局地的な豪雨等による浸水被害軽減を図るため、那賀及び伊都振興局に排水ポンプ車を各1台配備(3月)  
排水ポンプ車 計4台配備(海草、那賀、伊都、西牟婁の各振興局に配備)
- 国の新たな被害想定を受け、和歌山県地震・津波被害想定検討委員会の開催(3月・7月)
- ラジオ総合相談窓口「ラジオ通じるサポートセンター」の開設(5月)
- 洪水情報の充実(6月)
  - ・ 熊野川(日足、本宮区間)で、新たに指定河川洪水予報を開始、既に実施中の有田川と日高川では、洪水予報区間をそれぞれ二川ダム、椿山ダム地点まで拡大
  - ・ 那智川を新たに水位周知河川に指定
  - ・ テレビ和歌山のデータ放送「あんぜん情報24時」にダム専用ページを新設
- Google との協定締結(7月)
  - ・ 避難先情報をGoogle に提供することにより、Google が提供する災害対応のマップサービス等で避難所を表示するなどの協力を実施
- 津波から『逃げ切る！』支援対策プログラム策定専門家会議  
(第1回:6月 第2回:11月)  
「東海・東南海・南海3連動地震」及び「南海トラフ巨大地震」による新たな津波浸水想定を踏まえ、避難困難地域の洗い出しと、それを解消するための支援対策プログラムを策定するために「津波から『逃げ切る！』支援対策プログラム策定専門家会議」を開催
- 和歌山県津波避難訓練(7月)  
沿岸19市町(沿岸全18市町+古座川町)で情報伝達訓練や避難訓練を実施
- 和歌山県防災会議開催(8月)  
災害時緊急機動支援隊の派遣や和歌山県避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成のモデル基準、市町村避難所運営マニュアルなどを盛り込んだ県地域防災計画修正案を承認
- 災害時緊急機動支援隊について、平成25年度災害時緊急支援要員の選任並びに研修実施(7・8月)
- 独立行政法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)との協定締結(9月)
  - ・ 独立行政法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)が設置し運用する地震・津波観測監視システム「DONE T」からのリアルタイムに観測されるデータの提供を受け、津波の規模や到達予測の研究に関して連携する協定を締結

- 市町村長を対象とした「和歌山県市町村長防災危機管理ラボ」を開催(10月)
- 「気象予測システム」の運用開始及び「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成のモデル基準」の改正(9月)
  - (一財)日本気象協会が有する超短時間降水予測やSYNFOS-3D降水予測を用いて、早期かつ的確に避難勧告等が実施できるようにシステム環境を整備、それに伴いモデル基準の必要な事項を改正
- 「津波防災の日(11月5日)」の記念行事として津波防災講演会を開催(11月)
- 津波災害対応実践訓練を実施(11月)
  - 南海トラフ地震などの大規模災害に備え、県職員による迅速な初動対応と関係機関と連携した救助活動などの訓練を実施し、災害対応力を強化する。
  - 場 所: 広域防災拠点(コスモパーク加太)、和歌山県庁南別館、和歌山市湊地区、御坊市北塩屋地区
  - 内 容: 活動拠点設置訓練、情報収集・伝達訓練、負傷者等救出・搬送訓練、物資搬送訓練等
  - 参加機関: 県、近畿地方整備局、自衛隊、警察、海上保安庁等
- 耐震改修促進法の改正に伴う耐震診断義務化施設に対する補助制度創設(11月)
  - ・耐震診断義務化の対象となる施設のうち、以下、緊急に安全性を高めていく必要がある施設に対しての補助制度を創設した。
    - ◇被災後の避難生活者を一定期間受け入れることができる避難所としての機能を有する施設  
「ホテル・旅館」などを想定
    - ◇災害時に自力での避難が困難な避難弱者が存在する施設  
「病院、幼稚園、老人ホーム等」
- 「和歌山防災パワーアップ補助金」により、避難路の整備等を市町村が推進
- 各種団体と防災に関する協定を締結
  - ・大規模災害の発生等により死者が多数発生した場合に備え、全国霊柩自動車協会、全日本葬祭業協同組合連合会及びきのくに葬祭事業協同組合、全日本冠婚葬祭互助協会と協定を締結(1月)
  - ・燃料の供給に関し、石油連盟と覚書(2月)、(一社)和歌山県LPガス協会と協定を締結(5月)
  - ・工事用資機材の調達について、(株)アクティオと協定を締結(2月)
  - ・災害時のし尿処理に関して、(一社)和歌山県一般廃棄物協会と協定を締結(11月)
  - ・県内の全コミュニティFM放送局と災害時における放送要請に関する協定を締結(11月)
- 応急仮設橋設置訓練(12月)
  - 近畿地方整備局、海上自衛隊、県、串本町、那智勝浦町、新宮警察署、新宮地方建設業協同組合が連携して実施

## 2. 暮らしの安全・安心

- 脱法ハーブ等の薬物の濫用から県民の健康を守るとともに、健全な社会を実現するために「和歌山県薬物の濫用防止に関する条例」を全面施行(4月)
- 性暴力救援センター和歌山「わかやまmine(マイン)」開設(7月)
  - ・県立医大病院内に相談窓口を設置し、強かんや強制わいせつなどの性暴力を受けた被害者に、緊急医療や心のケアなどの総合的支援を実施。

## Ⅸ にぎわいと交流を支える公共インフラを整備する和歌山

### 1. 交通ネットワークの充実

#### ○道路網の整備

- ・都市計画道路 日方大野中藤白線(海南市馬場町1丁目～同市日方)供用開始(1月)
- ・国道480号(岩野河バイパス)(有田川町岩野河～川口)供用開始(2月)
- ・主要地方道 海南金屋線(海南市重根)供用開始(3月)
- ・一般県道 井ノ口秋月線(和歌山市栗栖)供用開始(3月)
- ・都市計画道路 栄町線(紀の川市名手市場)供用開始(3月)
- ・国道168号(本宮道路)(田辺市本宮町大居～同市本宮町切畑)供用開始(3月)
- ・都市計画道路 松島本渡線(神前南工区)(和歌山市神前)暫定供用開始(4月)
- ・都市計画道路 湊神前線(和歌山市神前)暫定供用開始(4月)
- ・主要地方道 上富田南部線(田辺市秋津町)供用開始(7月)
- ・主要地方道 粉河加太線(宇田森工区)(和歌山市宇田森～同市弘西)供用開始(7月)
- ・主要地方道 御坊由良線(日高町阿尾～産湯)供用開始(8月)
- ・国道425号(印南町工区)(印南町美里)供用開始(9月)
- ・国道425号(切目川バイパス)(印南町上洞～同郡同町高串)部分供用開始(10月)
- ・主要地方道 和歌山橋本線(神前工区)(和歌山市神前～同市和田)暫定供用開始(11月)
  
- ・一般国道42号新宮紀宝道路の新規事業化(5月)
- ・近畿自動車道紀勢線「すさみ～太地間」及び「新宮～新宮北間」の実施環境整備として現地調査等を推進(5月)
- ・一般国道42号湯浅御坊道路4車線化の新規事業化(6月)
- ・近畿自動車道紀勢線の(仮称)和歌山南スマートIC及び京奈和自動車道のかつらぎ西ICの整備について事業着手(6月)
- ・有田～南紀田辺間4車線化事業着手式(6月)

#### ○高速道路整備推進のための活動等

- ・高速道路をはじめ県内道路網の整備促進を求める和歌山県民総決起大会の開催(2月)
- ・高速道路のミッシングリンクを解消し日本の再生を実現するため、高速道路の整備が遅れた11県知事が連携して提言活動(7月)

#### ○高速交通インフラ推進のための活動等

- ・関空・紀淡・四国高速交通インフラ期成協議会の設立(9月)
- ・東京において関空・紀淡・四国高速交通インフラ期成協議会設立記念シンポジウムの開催(11月)

## 2. インフラ整備

○大滝ダム竣工(3月)

○切目川ダム「定礎式」の開催(6月)

○紀三井寺公園陸上競技場改修工事完了(3月)

○和歌山県営相撲競技場改修工事完了(3月)

○秋葉山公園県民水泳場建替工事完了(7月)

○海浜公園「和歌山県加太ビーチ」に加太ビーチハウスオープン(6月)

○わかやま技術支援人材バンクの創設(7月)

○交通機能の充実

・南海 和歌山市駅のバリアフリー化が完了(3月)

## 3. その他

○和歌山本港区大浦地区(水軒川河口)の放置艇「0」達成(10月)

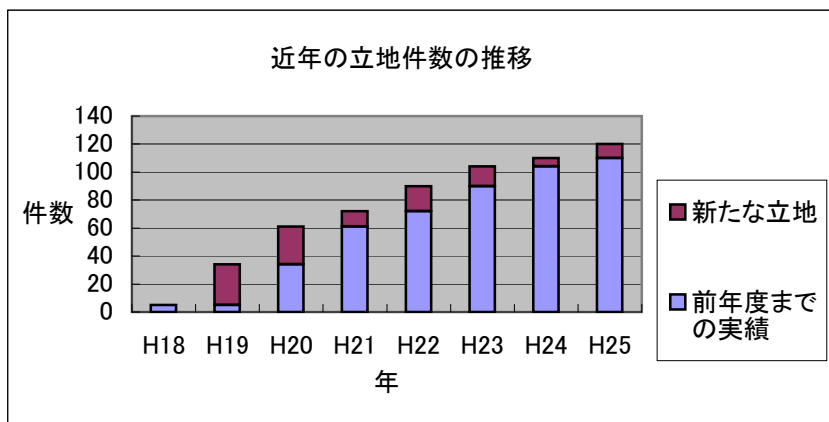
## ○平成18年12月以降の本県への企業立地動向

	企業名	立地場所
1	(株)松源	和歌山市
2	亀宝倉庫(株)	和歌山市
3	エアウォーター(株)	和歌山市
4	原田織物(株)	橋本市
5	(株)タカショー	海南市
6	ペトロマテリアル(株)	和歌山市
7	アトラック(株)	橋本市
8	恵和(株)	印南町
9	(株)NMソルト	和歌山市
10	南海化学工業(株)	和歌山市
11	荊盛堂薬品(株)	和歌山市
12	ミナベ化工(株)	みなべ町
13	(株)NTN	上富田町
14	(株)スミロン	日高川町
15	パナソニック(株)エナジー社	紀の川市
16	アイコム(株)	紀の川市
17	本州化学(株)	和歌山市
18	辻岡運輸(株)	和歌山市
19	(株)オークワ	和歌山市
20	住友金属工業(株)	和歌山市
21		和歌山市
22	和興建産(株)	和歌山市
23	太陽食品(株)	和歌山市
24	極東化成工業(株)	岩出市
25	尾高ゴム工業(株)	紀の川市
26	関戸運輸(株)	和歌山市
27	ビーウィズ(株)	和歌山市
28	(株)ユアブレインズ	和歌山市
29	アドバン工業(株)	和歌山市
30	(有)久保田エンジニア	紀の川市
31	(株)ホタニ	紀の川市
32	大輪産業(株)	橋本市
33	恵和(株)	御坊市
34	(株)アルバック	橋本市
35	(株)エスアールアイ	海南市
36	ペトロマテリアル(株)	和歌山市
37	東京製綱(株)	和歌山市
38	セイカ(株)	和歌山市
39	(株)マルテン天満屋	日高川町
40	(株)コズミックランド	白浜町

	企業名	立地場所
41	大阪富士工業(株)	和歌山市
42	笠野興産(株)	和歌山市
43	(有)コバタ総合研究所	橋本市
44	田辺金属工業(株)	田辺市
45	朝日オリコミ和歌山	和歌山市
46	(株)中井鉄工所	橋本市
47	(株)しんこう技研	紀の川市
48	旭精機(株)	橋本市
49	(株)NMソルト	和歌山市
50	木本産業(株)	有田市
51	尾高ゴム工業(株)	紀の川市
52	太洋工業(株)	和歌山市
53	住友精密工業(株)	和歌山市
54	花王(株)	和歌山市
55	エアウォーター(株)	和歌山市
56	南海化学工業(株)	和歌山市
57	(株)三晃精密	橋本市
58	(株)ふみこ農園	有田市
59	(株)テクノ・アシスト	紀の川市
60	棒引製材	みなべ町
61	白光印刷	和歌山市
62	林化成(株)	橋本市
63	(株)見果てぬ夢	田辺市
64	大日本除虫菊(株)	海南市
65	共同印刷(株)	有田川町
66	花王(株) ※研究施設	和歌山市
67	紀和化学工業(株)	紀の川市
68	三菱電機(株)	和歌山市
69	日建産業(株)	御坊市
70	豊国金属工業(株)	橋本市
71	ミナベ化工(株)	みなべ町
72	(株)ニッコク	岩出市
73	紀州ファスナー工業(株)	御坊市
74	(株)九重雑賀	紀の川市
75	(株)丸徳水産	和歌山市
76	ハグルマ(株)	紀の川市
77	藤本製菓(株)	御坊市
78	北広ケミカル(株)	橋本市
79	ヤマトコンタクトサービス(株)	和歌山市
80	日進化学(株)	橋本市

	企業名	立地場所
81	スターゼン西日本販売(株)	和歌山市
82	(有)日本鮪養殖	那智勝浦町
83	(株)串本マリンファーム	串本町
84	南紀串本水産(株)	串本町
85	東京製網(株)	和歌山市
86	川口水産(株)	有田市
87	和歌山ガーデンクリエイト(株)	海南市
88	(株)ケー・ワイ・ビー	紀の川市
89	(株)イブバイオサイエンス	橋本市
90	中紀精機(株)	御坊市
91	(株)エス・ティー・ワールド	和歌山市
92	(株)赤井工作所	岩出市
93	(株)ユニカル	橋本市
94	クックスベスト(株)	那智勝浦町
95	(株)ゼネラルステッカー	田辺市
96	ナイス(株)	和歌山市
97	松林金属(株)	橋本市
98	(株)インテリックス	和歌山市
99	中部抵抗器(株)	紀の川市
100	富士香料化工(株)	橋本市

	企業名	立地場所
101	岡村製油(株)	橋本市
102	理工協産(株)	橋本市
103	(株)たにくち	日高川町
104	川本化成(株)	和歌山市
105	(株)玉林園	和歌山市
106	(株)丸阪	橋本市
107	藤本食品(株)	岩出市
108	小川工業(株)	橋本市
109	北辰精工(株)	橋本市
110	(株)フューチュレック	海南市
111	(株)河鶴	みなべ町
112	橋電装工業(株)	和歌山市
113	(株)紀山	紀の川市
114	紀南パンジー(株)	上富田町
115	菱岡工業(株)	和歌山市
116	EH製菓(株)	田辺市
117	(株)エムジェイテック	橋本市
118	中辻産業(株)	橋本市
119	真和テック(株)	橋本市
120	(株)ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング	和歌山市



立地件数	120件
総投資額	3,582億円
雇用人数	1,748人(正社員数)